



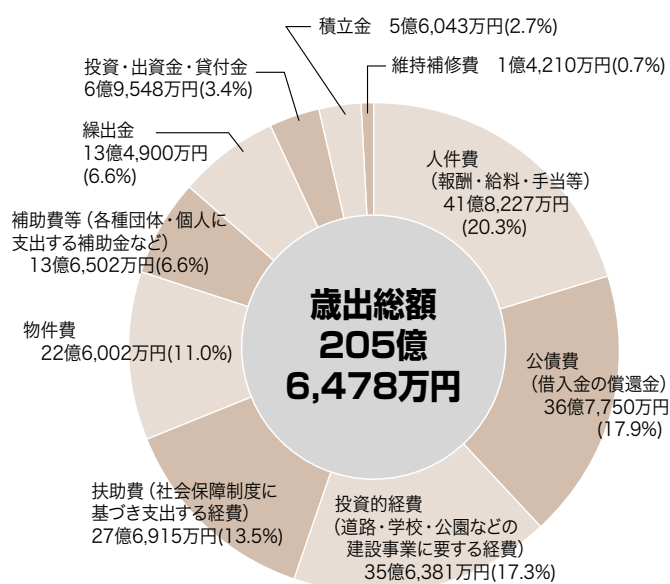
歳出決算は、前年度より3.0%の増加となりました。主な増減内訳として、乳幼児等医療費の増などにより民生費が2.8%の増、尾崎・御崎地区都市再生整備事業などにより土木費が8.2%の増、また、借換債償還金（※）などにより公債費が23.9%の増となっています。

街路や公園等の建設事業に要する投資的経費は、2.4%の減となり、人件費、公債費、扶助費といった義務的に支出しなければならない経費の歳出総額に占める割合は51.7%となっています。

（※）借換債償還金 償還期日が到来した市債を償還するため、同額を借り入れる名目的な支出。なお、借換債償還金を除くと公債費は5.4%の減少。

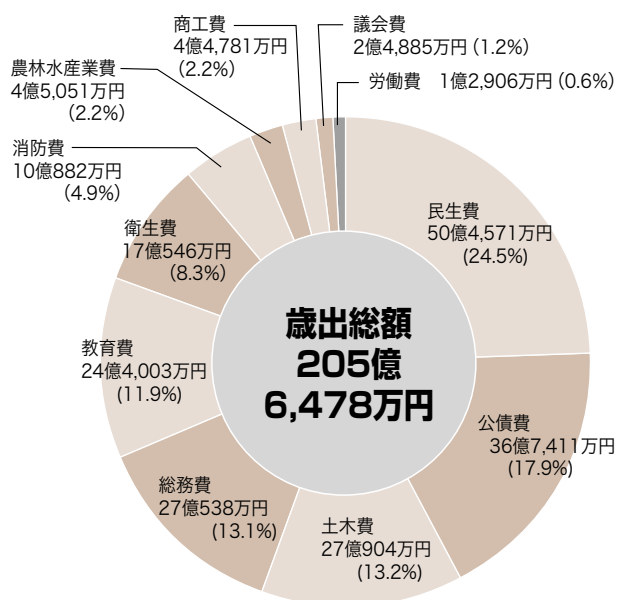
性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



目的別内訳

各行政目的別、つまり各部局ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。



市民1人あたりの決算額 (目的別)

